

夏の展示会のご案内

令和六年八月二十三日(金)～八月二十五日(日)
午前十時～午後五時



新古茶道具
宮原

新古茶道具宮原の宮原と申します。

平素はご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

また初めてカタログを手に取っていただきました方も、お読みいただき誠にありがとうございます。

当店は、古儀茶道藪内流の茶道具を中心に扱う茶道具店でございます。もちろん他流のお客さまにも楽しんでいただけますよう誠意努力させていただきますので、何卒御用命のほどよろしく願いいたします。

カタログ内に気になるお道具がございましたら、電話(ショートメールも可)、メールなどにてご連絡くださいませ。ご連絡いただいた商品から対応させていただきます。

また下記地図店舗にて夏の展示会を開催しております。カタログに載っていない藪内流の道具も多く展示しておりますのでぜひご来店くださいませ。

夏の展示会 開催日時:令和6年 8月23日～25日 10時～17時



お忙しい日時日程の事かとは思いますが、よろしければ足をお運びください。店主は所用にて不在ではございますが、店頭の者に気兼ねなくことづけて頂ければ幸いです。暑い夏が続きますどうぞご自愛くださいませ。

店舗情報 新古茶道具宮原

住所:京都市下京区西洞院通正面下る鍛冶屋町439-1

TEL:090-9980-6630

MAIL:sadougu-miyahara@eag-tea-maker.net

藪内流の茶道具につきまして、販売・買取・修理など幅広く対応させていただきます。



朝日焼御本茶碗 朝日豊斎作



今日当時の陶工である14代朝日豊斎作の御本茶碗になります。落ち着きあのある主形のお茶碗です。

共箱 直径約13cm 高さ約8.5cm
¥20,000(税込)

黒平茶碗 中村道年作



名古屋の八事窯、2代中村道年作の黒楽平茶碗になります。初代中村道年は清水六兵衛や高橋道八に師事し、2代はバーナード・リーチや益田鈍翁などとも交流しました。

共箱 直径約14cm 高さ約5cm
¥20,000(税込)

色絵橋柳茶碗 平安美晴作



京焼の佐本美晴作の色絵橋柳茶碗になります。緻密に描かれた金銀彩に色絵の美しいお茶碗です。

共箱 直径約12.7cm 高さ約8cm
¥30,000(税込)

絵高麗写茶碗 永楽保全窯作



鉄絵の絵高麗写しの平碗で永楽保全の窯作の物になります。永楽の工房作品で小さな丸印になっています。白泥土で化粧がけした素地の上に鉄砂釉の文様が描かれた陶器で江戸時代には李朝時代の朝鮮産を意味しましたが近年は中国の磁州窯のもの絵高麗と呼ばれます。平茶碗または主菓子器にも。

桐箱 直径約15.5cm 高さ約6cm
¥38,000(税込)

鉄絵茶碗 バーナード・リーチ作



バーナード・リーチ作の鉄絵茶碗になります。リーチは香港生まれのイギリス人で幼少期を日本で過ごしました。ロンドン美術学校でエッチングを学び日本では柳宗悦や濱田庄司などと友好関係を持ちスリップウェアなどの民芸の作品を多く残しました。西洋陶器と東洋陶磁の技術を融合させた独自の作風が特徴的です。

共箱 直径約13cm 高さ約7.5cm
¥100,000(税込)

堅手茶碗 銘「花よせ」透月斎箱



朝鮮の堅手茶碗で数内流11代透月斎宗匠が銘を「花よせ」としています。茶碗の胴に指で押し込んだような丸い跡が5か所あり花卉のような形状になっています。堅手はその名の通り硬い質感からきており、磁器質で白濁釉のものも多くみられます。焼成状況によって完全な白磁に焼きあがったものと半磁胎のものがありまた形態も見込みの深いものや浅いものなど多様です。こちらはかなり磁器質のものです。

共箱 直径約11cm 高さ約6.5cm ¥120,000(税込)

源氏車絵茶碗 平安美晴作



京焼の佐本美晴作の源氏車絵茶碗になります。金銀彩で源氏車が描かれているお茶碗で源氏車は「回り続ける」ということから縁起物とされています。

共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm
¥25,000(税込)

色絵大堰の里茶碗 平安美晴作



京焼の佐本美晴作の色絵大堰の里茶碗になります。大堰とは水が流れることやその流れのことを指します。地名にも多くありますがその多くが川の側であることなどから水の多い地域の風情を描いているようです。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥25,000(税込)

唐津皮鯨茶碗 西岡小十作



唐津焼の陶工である西岡小十作の唐津皮鯨茶碗になります。皮鯨とは口部に鉄絵の具を塗り、全面に長石釉をかけた趣が黒い皮をつけた皮鯨に似ているので呼ばれたものといわれています。

共箱 直径約12.5cm 高さ約7.5cm
¥88,000(税込)

松竹梅茶碗 北野天満宮大万燈祭残余



松竹梅画の燕庵の印のされたお茶碗で北野天満宮の1050年大万燈祭に際して数内流12代猗々斎宗匠が好まれたお茶碗になります。

共箱 直径約13cm 高さ約8.5cm
¥40,000(税込)

摸絵唐津菊桐茶碗 豊田木元作 青々斎箱



絵唐津菊桐写茶碗で陶芸家の豊田木元作となっております。このお茶碗は流祖剣仲が秀吉公より拝領したといわれる唐津茶碗になります。13代青々斎宗匠の箱。

共箱 直径約11cm 高さ約8cm
¥45,000(税込)

出雲焼茶碗 初代空斎作 猗々斎箱



出雲焼の秋草絵のお茶碗で数内流12代猗々斎宗匠が初代空斎の箱を書かれています。布志名焼土屋家二代善四郎政芳の次男で長岡初代住右衛門貞政の養子となった初代空斎は楽山窯の6代目とされる。楽山窯であるがこのころは布志名焼との区別ができない作品も多く作られており伊羅保茶碗や京焼風の色絵物に優品が見られます。

共箱 直径約13cm 高さ約9cm
¥100,000(税込)

色絵鉄線茶碗 平安衣笠作



京焼の陶工である藤谷衣笠作の色絵鉄線茶碗になります。季節を感じる平茶碗です。

共箱 直径約15cm 高さ約5cm
¥20,000(税込)

三島写平茶碗 久世久宝作



京焼の陶工である久世久宝作の三島写平茶碗になります。薄造りで手取り軽い一皿です。

共箱 直径約14cm 高さ約4.5cm
¥35,000(税込)

大樋菊絵茶碗 9代大樋長左衛門作



9代大樋長左衛門作の萬壽菊の絵の大樋茶碗になります。この丸い菊は光琳菊と呼ばれ尾形光琳が創始した意匠になります。花を単純化した文様でこんもりと丸い形が饅頭に似ている事から「饅頭菊」さらに長寿を願って「万寿菊」とも呼ばれます。

共箱 直径約13cm 高さ約7cm
¥55,000(税込)

天目釉茶碗 清水卯一作



「鉄釉陶器」の人間国宝である清水卯一作の天目釉茶碗になります。小ぶりの手に収まるような丸型の一皿で天目茶碗に使われる釉薬をかけられたものです。お茶の映える茶碗です。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥100,000(税込)

竹の絵茶碗 猗々斎在判・箱



御本手の茶碗に笹の絵の描かれた一皿で藪内流12代猗々斎宗匠在判・箱になります。絵付けもおそらく猗々斎宗匠自身でしょうか。竹の意匠といい藪内流では大変使いやすい一皿です。

共箱 直径約12.5cm 高さ約7.5cm
¥60,000(税込)

古曽部安南写茶碗 透月斎箱



古曽部焼の安南写茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。古曽部焼は江戸時代後期から大正時代にかけて、摂津国嶋上郡古曽部村(現大阪府高槻市古曽部町)の五十嵐家の古曽部窯で生産された陶器です。上質な朝鮮陶器の写しから、日用雑器まで様々なものが作られました。

共箱 直径約14.5cm 高さ約6.5cm
¥100,000(税込)

ギヤマン銀箔散らし茶碗 青嵐窯



ギヤマン(ガラス)の銀箔散らし茶碗で青嵐窯の作となっております。夏の暑い時期にお使いいただける涼しげな一皿です。

共箱 直径約15.5cm 高さ約7cm
¥20,000(税込)

柳に猿猴図茶碗 豊田木元作



織部好の柳に猿猴図茶碗の写しで藪内流の門下であった陶芸家の豊田木元の作となっております。本歌は8代竹崎の箱書きによれば織部より剣中に到来した茶碗と伝えられています。

共箱 直径約13cm 高さ約7cm
¥35,000(税込)

膳所焼 金彩若松茶碗 青々斎箱



滋賀県大津の膳所焼の窯元である陽炎園製の金彩若松茶碗で藪内流13代青々斎宗匠の箱となっております。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥40,000(税込)

膳所焼 金彩檜梅茶碗 青々斎箱



陽炎園製の膳所焼金彩檜梅茶碗で藪内流13代青々斎宗匠の箱となっております。金彩の雲に大きな檜梅の絵が描かれたおめでたい一皿です。

共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm
¥40,000(税込)

対州御本茶碗



白象嵌の御本茶碗になります。寛永十六年(1639)朝鮮釜山の和館内に築かれた対馬藩宗家の御用窯であった釜山釜の廃絶後に対馬藩は対馬に窯を築き、対馬の土で茶陶を焼いたものを対州(対州)御本といえます。

共箱 直径約13.5cm 高さ約7.5cm
¥88,000(税込)

染付分銅形茶碗 永楽保全作



染付分銅手の茶碗で11代永楽善五郎保全作になります。小鉢のようにも見えますが背が高く高台もしっかりとあります。どの方向からでも美しい絵が見えます。16代永楽善五郎即全の識箱。

識箱 縦約12.8cm横約12cm 高さ約7.5cm
¥100,000(税込)



祥瑞洲浜茶碗

染付の祥瑞洲浜茶碗になります。近代の作品になりますが中国、景德鎮の作になります。

桐箱 縦約11cm 横約10cm 高さ約7.5cm
¥35,000(税込)



御本編笠手茶碗

御本の編笠手茶碗で江戸前期、釜山窯の作と鑑識家の久志卓真が箱を残しています。編笠手は歪んだ姿が編笠の様相のためその様に呼ばれます。薄造りなこの茶碗は濃茶の一碗として格別な一碗です。

識箱 直径約15cm 高さ約7.5cm
¥220,000(税込)



萩茶碗 銘「朝日山」透月斎箱

時代の萩焼茶碗で藪内流11代透月斎宗匠が銘を「朝日山」としている一碗です。濃茶にも薄茶にもお使いいただける茶碗です。

共箱 直径約13.5cm 高さ約8cm
¥120,000(税込)



粉青沙器刷毛目茶碗

李朝の粉青沙器刷毛目茶碗になります。粉青沙器（ふんせいさき）は、朝鮮半島で李氏朝鮮時代の15世紀を中心にして作られた磁器の一種で鉄分の多い陶土に肌理細かい白土釉で化粧掛けを施し透明釉を掛けて焼造した陶器です。

桐箱 直径約17.5cm 高さ約6.5cm
¥120,000(税込)



瀬戸天目茶碗 休々斎箱

藪内流10代休々斎宗匠の箱の瀬戸天目茶碗になります。瀬戸で焼かれた菊花天目茶碗の写しのようです。

共箱 直径約13cm 高さ約7cm
¥85,000(税込)



黒筒茶碗 銘「やまからす」休々斎箱

楽吉左衛門9代了入作の黒筒茶碗で藪内流10代の休々斎宗匠が銘を「やまからす」とつけられた一碗です。小ぶりな一碗で秋の時期に良い銘がつけられています。

共箱 直径約10cm 高さ約8.5cm
¥200,000(税込)



古唐津茶碗

時代の古唐津茶碗になります。枇杷色に嵌入、高台そばの細かい梅花皮岳の美しい上品な唐津の一碗です。手に収まりもよくよく使いこまれています。

共箱 直径約13cm 高さ約7cm
¥160,000(税込)



乾山写竹の絵茶碗 永楽善五郎作 青々斎好

藪内流13代青々斎宗匠好みの乾山写し竹の絵茶碗で16代永楽善五郎即全の作となっております。廿（にじゅう）の内とあり20碗作られたうちの一碗です。

共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm
¥180,000(税込)



草絵数茶碗 10客 竹島覚二作

鉄絵の草の絵茶碗で竹島覚二氏の作となっております。落ち着いたお茶碗です。10客組。

共箱 直径約13cm 高さ約8cm
¥30,000(税込)



仁清写天目形七宝紋茶碗 10客 桐鳳作

仁清写の七宝紋天目形茶碗で京焼の手塚桐鳳作になります。

共箱 直径約12.5cm 高さ約6.5cm
¥35,000(税込)



仁清写蓬萊の絵茶碗(青) 10客 平安美晴作

仁清写し蓬萊の絵茶碗で佐本美晴の作となっております。青を基調とした松や亀等の吉祥の図柄と蓑、笠、巻物等の宝尽くしの品々も描かれています。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥48,000(税込)



仁清写蓬萊の絵茶碗(緑) 10客 平安美晴作

仁清写し蓬萊の絵茶碗で佐本美晴の作となっております。こちらは緑を基調に描かれています。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥48,000(税込)



桐唐草蒔絵中棗 鶴峰作

塗師の鶴峰作の桐唐草蒔絵中棗になります。白漆を使った作品です。桐は鳳凰の止まる木として古代中国で神聖化されており、唐草は蔓草の生命力の強さと、茎をどこまでも伸ばしてゆくとことから長寿・延命・子孫繁栄の意匠になります。

共箱 直径約6.5cm 高さ約6.5cm
¥20,000(税込)



海松貝蒔絵大棗 中村宗悦作

海松貝蒔絵の大棗で塗師の中村宗悦作となっております。海松貝（みるかい）は海松と貝の意匠で、「海松」これで「みる」と読み松の葉に似て末広がりになっているので海の松となった様です。初夏のころの取り合わせの他に、最近桃の節句などのおめでたい機会にも使われます。

共箱 直径約7.5cm 高さ約7.5cm
¥30,000(税込)



沢瀉蒔絵棗 恭蔵作

沢瀉蒔絵の棗で石川県、加賀蒔絵塗師の中村恭蔵の作となっております。沢瀉は「たくしょう」とも読み、沢は「山の谷筋」瀉は「水が注ぐ、流れ着く」の意味で、沢筋の水が沼、池、瀉、湿地などに流れ着いている場所をさします。武家の家紋によく使われたのはその葉の形状が鎌に似ており「勝戦草（かちいくさぐさ）」とも呼ばれたからともいわれます。

共箱 直径約7.5cm 高さ約7.5cm ¥30,000(税込)



落形茶器 比叡山土を以て 猗々斎在判・箱

落形の陶器の薄茶器で藪内流12代猗々斎宗匠が若宗匠時代の紹光の花押を書かれた物になります。比叡山の土を以て作られたものようです。

共箱 直径約7cm 高さ約7.5cm
¥50,000(税込)



菊蒔絵棗 透月斎在判・箱

金で菊の意匠が蒔絵された木地棗で藪内流11代透月斎宗匠が花押在判と「秋菊有佳色」の文字を書かれています。落ち着いた木地棗ではありますが見どころも多く秋の季節に話題になってくれるお棗です。

共箱 直径約6cm 高さ約6cm
¥120,000(税込)



菊桐蒔絵棗 野村得庵好み 辻石斎作

碧雲荘主人であった野村得庵好みの菊桐蒔絵で塗師の辻石斎の作となっております。菊桐の意匠が一つに合わさった美しいお棗になります。25点作られたうちのひとつとされ透月斎宗匠の箱。

共箱 直径約7cm 高さ約6.5cm
¥158,000(税込)



銀杏蒔絵棗 恭蔵作

銀杏蒔絵の棗で加賀蒔絵塗師の中村恭蔵の作となっております。銀杏の葉が舞っているように描かれた棗になります。

共箱 直径約7cm 高さ約7cm
¥30,000(税込)



萩蒔絵棗 透月斎箱

萩蒔絵の木地棗で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。山挽きという木地目の多く残った造りに内側にだけ萩の蒔絵が描かれた粋な作風です。

共箱 直径約6cm 高さ約8.5cm
¥85,000(税込)



朱塗利休小棗 飛来一閑作 休々斎在判・箱

塗師の飛来一閑作の朱塗りの利休小棗で藪内流10代休々斎宗匠が棗の蓋裏に花押と箱書きをされています。小棗とありますがサイズ的にはほんの少し小さい程度で茶箱用等ではなく通常の道具組にもお使いいただけます。

共箱 直径約6cm 高さ約6.5cm
¥90,000(税込)



竹露好み 刷毛目朱平棗 透月斎在判・箱

藪内流9代の宝林斎竹露宗匠の好みの刷毛目朱平棗で11代の透月斎宗匠が在判と箱書きをされています。桐箱の蓋裏には「頑父竹露好」とあります。

共箱 直径約7.5cm 高さ約5.5cm
¥100,000(税込)



梨地秋草蒔絵平棗

時代の梨地秋草蒔絵の平棗になります。表は銀の梨地に桔梗や芒に菊などの秋草の蒔絵が施され内側には金の梨地に菊の花が添えられた豪華な平棗です。

塗箱 直径約8cm 高さ約5.5cm
¥100,000(税込)



黒小棗 比老斎在判 遠坂宇兵衛作

藪内流6代比老斎宗匠の在判の黒小棗で古くは藪内流の塗師であった遠坂宇兵衛作になります。大変状態よく、蠟色になった棗で遠坂の共箱に後から藪内流11代透月斎宗匠が識をされたものです。サイズも表記の様にほんの少し背が低い程度でしょうか。

共箱（識） 直径約6.7cm 高さ約6.5cm
¥350,000(税込)



柳橋棗 紹光在判・箱

柳橋の描かれた陶器の棗で藪内流12代猗々斎宗匠が若宗匠時代の紹光の在判と箱を残しています。流儀扇と同じく桃山柳橋屏風図の意匠になります。

共箱 直径約6cm 高さ約7.5cm
¥55,000(税込)



鶴首茶入 豊田嘉隆作 乾老舗箱

藪内流の門下で陶芸家であった豊田嘉隆(木元)作の瀬戸写鶴首茶入れになります。大変可愛い菊いちご紹巴の仕服が添えられています。

共箱 直径約7cm 高さ約8cm
¥35,000(税込)



瀬戸写肩衝茶入 豊田木元作 青々斎箱

藪内流の門下で陶芸家であった豊田木元作の瀬戸写肩衝茶入れになります。藪内流13代青々斎宗匠の箱書き。

共箱 直径約6.5cm 高さ約6.5cm
¥88,000(税込)



高取耳付瓢茶入 銘「いわ猿」透月斎箱

高取焼の耳付瓢形茶入れで藪内流11代透月斎宗匠が銘を「いわ猿」としています。その茶入れの姿からの銘でしょうか。

共箱 直径約6cm 高さ約9cm
¥130,000(税込)



唐物写文琳茶入 豊田木元作 青々斎箱

藪内流の門下であった豊田木元作の唐物写し文琳茶入で藪内流13代青々斎宗匠のお箱となっております。仕服も2点ついた大変よい仕立てのお茶入れです。文琳とはりんごの美称です。

共箱 直径約6cm 高さ約7.5cm 口径約3cm 底径約4cm
¥100,000(税込)



比老斎手造茶入 銘「黍だんご」竹翁箱

藪内流6代比老斎竹陰作の手造り茶入れで7代の桂隠斎竹翁が銘を「黍(きび)だんご」としています。形状からでしょうか、大変面白味のある銘になっています。釉薬には藪内流の家元の手造りだけに使われた藪内釉が使われています。藪内釉は楽家管理の釉薬で透月斎宗匠時代に使い切り、作り方が消失しています。

識箱 直径約7cm 高さ約5cm ¥350,000(税込)



小林太玄作茶杓 銘「秋時雨」

大徳寺黄梅院小林太玄和尚作の煤竹茶杓で銘を「秋時雨」になります。

共箱・共筒 長さ約18cm
¥20,000(税込)



有馬頼底作茶杓 銘「佳景」

臨濟宗相国寺派管長の有馬頼底和尚作の竹茶杓で銘を「佳景」になります。字のごとく佳い景色のことを意味するようです。

共箱・共筒 長さ約18cm
¥20,000(税込)



透月斎作茶杓 銘「野鶴」

藪内流11代透月斎宗匠作の煤竹茶杓で銘を「野鶴」となっております。「野に遊ぶ鶴」というそのままの意味と、「仕官しないで俗世間にいる人」「自由な人」という意味も持っています。

共箱・共筒 長さ約18.5cm
¥120,000(税込)



透月斎作茶杓 銘「宮城野」

藪内流11代透月斎宗匠作の染竹茶杓で銘を「宮城野」となっております。宮城野とは陸奥国宮城郡の平野で仙台市の地名として残る場所で古くは秋草、特に萩の名所として知られており歌枕としても有名です。

共箱・共筒 長さ約18cm
¥130,000(税込)



松月宙宝作 金毛閣の下の枯れ梅を以て 透月斎箱

大徳寺四百十八世、江戸後期の宙宝宗宇和尚作の梅の木の茶杓で藪内流11代の透月斎宗匠の箱となっております。金毛閣、大徳寺の山門の下の枯れ木を以て作られた茶杓です。

識箱・共筒 長さ約18.5cm
¥160,000(税込)



桂隠斎作茶杓 銘「三径」 共筒・透月斎箱

藪内流7代桂隠斎竹翁作の竹茶杓で銘を「三径」となっております。三径とは中国漢代の蔣詡(しょうく)が幽居の庭に3筋の径(こみち)をつくり、松・菊・竹を植えた故事から庭につけた3本の小道、または隠者の庭園や住居のことを指します。腰高の端正な茶杓です。透月斎宗匠の箱。

識箱・共筒 長さ約18cm
¥250,000(税込)